

Contents

Point of View _____ 1

Business Angle _____ 2~3

Activities _____ 4

【事務局】 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町12-6 南平台ベルウッド6F
TEL 03-3496-0121 FAX 03-3464-6944 URL <http://www.ajec.com/>

Point of View

◆新・顧問弁護士に桑野雄一郎氏が就任
先の例会で契約の注意点などについて講演

新春のお慶びを申し上げます。

日本編集制作会社協会は今年も編集制作業界のますますの発展を目指し、アグレッシブに活動していきます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

さて、当協会の新しい顧問弁護士に、このほど骨董通り法律事務所の桑野雄一郎弁護士が就任しました。桑野弁護士は著作権法などに詳しく、12月7日に開催された例会で、「改正下請法と著作権法～契約に当たっての注意ポイント」と題して講演。改正下請法に関しては当協会でも経営委員会が中心となって契約トラブルの回避に向けた取り組みを行っており、参加者から熱心な質問が相次ぎました。以下は、例会での講演内容を収録・再構成したものです。

改正下請法の条件を満たす場合は積極的に利用すべき

◆改正下請法について

改正下請法とは、資本金に差のある2社間の取引において、規模の大きい側が小さい側に不利益な契約内容の強要を禁止する法律です。その適用は、発注側である親事業者と下請事業者の資本金および取引内容によって判別され、改正下請法が適用される場合、親事業者には義務と禁止事項が課せられます。義務には契約内容に関する具体的事実を明記した書面を交付・保存することや、支払期日を定め、それに遅れた場合は遅延利息を支払うことなどが定められています。また禁止事項には下請代金を不当に定めることや、注文した



桑野弁護士が改正下請法や著作権法などについての質問に答えている様子

物品などの受領拒否、下請代金の減額などが含まれており、親事業者にとっては厳しい内容となっています。当協会の会員は資本金1,000万円の会社が多く、条件を満たす場合は積極的に利用すべきでしょう。

◆著作権について

2005年1月から著作権法が改正され、書籍・雑誌などが貸与権（無断で貸与されない権利）の対象となりました。これにより書籍・雑誌などを有料で貸し出す際は、著作権者への使用料の支払が義務づけられます。

著作権はコンテンツを創作した側に帰属しますが、「著作権は〇〇に帰属する」という契約条項が入っている場合は、著作権の発生と同時に委託した側に完全譲渡するという解釈になります。著作権を譲渡する際は契約書の中にその条項を盛り込み、それに対する正当な対価を請求すべきでしょう。著作権の譲渡についての対抗策としては、「著作権は譲渡するが、こちらに無断では使わない」、「著作権は譲渡しないが、委託した側の了解がないとこちらも使わない」、「著作権を両者で共有する」などの条件を入れることが考えられます。



12月7日に東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷で開催された例会で講師を務める桑野雄一郎弁護士

◆契約交渉について

出版物などの作成委託を受けた場合には、受託内容、納期、代金、支払期日などを明記した書面を取り交わすのが理想ですが、発注側との力関係やこれまでの商習慣により、口約束だけで業務を請け負うことが少なくありません。こうした委託も最低限の事柄が決まっていれば、法律的には契約が成立したと判断されます。ただし、この場合はFAXやメールなど、何か形に残る物で相手の言質をとっておく必要があります。

桑野雄一郎弁護士のプロフィール

<経歴> 1991年早稲田大学法学部卒業、'93年弁護士登録、'03年骨董通り法律事務所を設立

<主な取扱業務> 出版、映像、演劇、音楽、ゲームなどのアート、エンタテインメント業界のクライアントに対する契約交渉の代理、訴訟などの紛争処理、著作権など知的財産権に関するアドバイス全般

<著書> 「著作権法コンメンタル」（共著）、「舞台芸術と法律ハンドブック」（編著・芸団協出版部）、「著作権判例百選」（共著・有斐閣）ほか

<その他> 東京藝術大学、同大学院、中央学院大学各非常勤講師（著作権法概論、知的所有権法）

<骨董通り法律事務所>

所在地：港区南青山5-18-5 南青山ポイント1階
TEL：03-5766-8980 FAX：03-5466-1107
URL：<http://www.kottolaw.com>



◆ 編集者の各種業務を大幅に省力化する 編集制作会社向け基幹業務統合ソフトが登場

去る11月11日に開催された一般書部会とデジタル部会の合同部会で、当協会準会員の(株)エスオーエー・コミュニケーションズ(橋口啓一社長)が、同社で開発した編集事務支援ソフト「編集長 ASP」を発表。編集業務のワークフロー改善策として参加者の注目を集めました。

Web Office「編集長 ASP」は、編集関連事務の効率を飛躍的にアップさせるとともに、利益の増大を目指す編集プロダクション、出版社、企業広報部向けの基幹業務統合ソフトです。編集プロダクションはクリエイティブな編集作業だけでなく、クライアントに見積書を提出したり、

取材先やライターなどに対する依頼書を作成したり、スケジュール管理などに追われてしまいがちです。「編集長 ASP」は、そういった各種の手配事務や経理事務などを効率化し、「文章やレイアウトデザインの品質管理にもっと時間をかけ、より良い作品を作りたい」という編集現場の声に応えることのできる画期的なアプリケーションソフトです。

<具体的な機能>

- ①取材依頼、取材手配、執筆者手配、カメラマン手配などの各種手配書を簡単な入力で自動作成し、事務を大幅に省力化することが可能です。
- ②原稿入手から完全原稿の作成、編集レイアウト、初校作成、校正、責

了までのワークフローを管理することができます。

- ③コストテーブル(見積データベース)を入力しておけば、見積書、収支予算表、請求明細書、収支確定書が自動的に作成できます。
- ④取材先や外部スタッフのデータベースが構築できます。
- ⑤複数の編集制作プロジェクトを一括して管理することができます。

- ◆動作環境 Windows、Macintosh対応
- * Webブラウザによって利用
- ◆月間利用料 18,900円(税込)
- * 10クライアントまで
- ◆サービス開始 2005年1月中旬予定
- ◆問い合わせ (株)エスオーエー・コミュニケーションズ(TEL:03-3662-2120)
- ◆ASP Application Service Providerの略。ビジネス用のアプリケーションソフトをインターネットを通じて顧客にレンタルすること、またはその事業者

Web Office「編集長 ASP」の機能

◆取材関連依頼

項目	数量	単価	数量	単価
取材、連絡内訳	1,000	8.00	8,000	¥80,000
取材手配料	10,000	18.00	180,000	¥180,000
カメラマン手配料	10,000	18.00	180,000	¥180,000
執筆者手配料	10,000	18.00	180,000	¥180,000
編集	10,000	18.00	180,000	¥180,000
印刷	10,000	18.00	180,000	¥180,000
送料	10,000	18.00	180,000	¥180,000
編集・校正	10,000	18.00	180,000	¥180,000
原稿・校正	10,000	18.00	180,000	¥180,000
印刷・校正	10,000	18.00	180,000	¥180,000
合計				¥1,229,840

プロジェクトの概略や依頼先情報、原稿料、締め切りなどの情報を入力すると(画像上)、クリックひとつで各種依頼書がExcelのシートに出力されます。

◆経理関係書類の作成

経理関係書類なども作成は簡単。一元管理で見積書(画像上)、請求明細書をはじめ収支予算表(画像下)、収支確定表がExcelのシートとして出力できます。

◆制作管理進捗表

各社の業務分担にそってカスタマイズ可能な制作進行管理表は、Excelシートで作成・プリントアウトし、コーナーごとに資料や原稿、組版などをひとまとめにして挟み込んで管理します。フローチャートが全面に印刷されているので、制作の流れが一目瞭然。今どういう段階なのか、次に何をすべきかがすぐに分かるようになっています。時系列ですべての書類を挟んでいけば、クライアントや取材先からの問い合わせに即座に対応でき、また社内での品質管理もスムーズに進みます。

◆「秋の全国研修会2004 in 東京」開催 各地から多数の編集制作会社が参加

組織委員会と教育委員会の合同による「秋の全国研修会2004 in 東京」が、10月21日に日本出版クラブ会館で開催されました。「出版社と編集プロダクションのありかた」をテーマにしたこのセミナーは、経営や営業に役立つ情報を得るとともに、出版社の編集者から我々に対する期待や要望を語ってもらうことで、今後の指針を探り、併せて出版社と編集制作会社との相互理解を図ることを狙いとしたものです。なお、当日は地方の有力編集制作会社にも参加を呼びかけ、北海道や九州などから参加した15社をはじめ、総勢70名が出席しました。



秋の全国研修会には北海道や九州などの地方の有力編集制作会社も多数参加し、各講師の話に熱心に耳を傾けていた

◆第1部（午後1時～2時20分）

今回は第1回ということで、料金問題、フリーペーパー、地方出版、流通、版元と編集制作会社のあり方など、幅広くテーマを取り上げ、第1部は当協会理事長の檜森雅美氏（㈱アーク・コミュニケーションズ社長）が、「出版社は外注編集費をどう決めているか～部数と定価、外注編集費の関係～」と題して講演しました。

◆第2部（午後2時30分～4時）

第2部は3つの分科会に分かれ、分科会Aでは「フリーペーパーの新しい展開」と題して、凸版印刷㈱企画販促本部編集企画室の奥主恒雄氏が講演。「フリーペーパー配布ルート一覧」「フリーペーパー関連アンケート」などの詳細な資料をもとに、急速に普及するフリーペーパーの現状と今後の展望を語ってもらいました。

分科会Bでは、「地方の出版社が向かう道」と題して、岡山県の出版社（株）吉備人の山川隆之代表に、地方出

版に賭ける思いと情熱を語ってもらいました。山川氏は講演で、「その土地のことは、やはりその土地に暮らしている人が一番よく知っていると思う。歴史や文化、自然など、その土地に根付いて長年研究している人もたくさんいます。子育てや教育、医療、環境など、伝えておかなければならないこと、残しておかなければならないこともたくさんある。そういった同時代を生きる地域の人々の思いを伝え、記録するのが地域の出版社の役割であり、仕事だと考えています」と述べました。

分科会Cでは、「出版流通の現況～書籍販売・雑誌販売・マルチメディア商品の販売～」と題して、シリーズ合計1,600万部を超えた『ハリー・ポッター』の流通面での仕掛け人、(有)ブックストラテジーサービスの豊田哲社長に、その成功の秘密や新しい出版流通のあり方、マーケティングなどについて語ってもらいました。

◆第3部（午後4時10分～6時）

第3部は「わたしたちはこういう編集プロダクションを求めている」と題して、(株)小学館出版局家庭編集チーフプロデューサーの田中修氏に編集部の活動内容や抱えているテーマ、編集制作会社との仕事の進め方などを紹介してもらいながら、期待する編集プロダクション像について語ってもらいました。講演の最後を締めくくった(株)幻冬舎編集本部第二編集局局長の福島広司氏には、新しく進出した実用書部門の背景や考え方、他社との差別化などを話してもらいました。両氏の講演はたいへん具体的かつ明解で、最新情報なども多く聞くことができ、また編集制作会社に対する期待を強く表明されたことも印象に残りました。

◆懇親会（午後6時20分～）

研修会のあとは、日本出版クラブ会館の3階にある宴会室「パピロス」に移り、ビュッフェスタイルの懇親会を開催しました。会場には講師を引き受けてくれた小学館や幻冬舎の編集者の方々をはじめ、地方から参加した編集制作会社の代表、また当協会にまだ未加入の編集制作会社の方々なども集まり、名刺交換やお互いの紹介、情報交換と、会場は終始賑やかな雰囲気に包まれました。

（教育委員長：小林哲夫）
（組織委員長：細江弘司）



研修会では6人の講師が講演。写真は第3部で講演した幻冬舎の福島広司氏（編集本部第2編集局局長）



研修会の後に開かれた懇親会には講師陣も加わり、会場は終始賑やかな雰囲気に包まれた

Activities

一般書・デジタル合同部会 11/11

一般書部会とデジタル部会の合同部会が、11月11日午後6時30分より東京・四谷の「出島厨房」で開催され、22名が参加しました。第1部は「編集業務のワークフロー改善、わが社の提案」と題して各社の事例研究を行い、(株)メディア・ナビゲーションからは自社開発したデータ送信ソフト「Eデータエクスプレス」を、(株)エスオーエー・コミュニケーションズからは同じく自社開発した編集事務支援ソフト「ASP 編集長」(2ページ参照)を、そして(株)暁和からは自社で押し進めている編集部との通信環境整

備およびコンテンツのデータベース化の事例をそれぞれ発表してもらいました。

その後、第2部の懇親会に移り、秋の味覚たっぷりの「長崎料理」を楽しみながら、活発な情報交換と交流・歓談で今年最後の部会を締めくくりました。



事例研究が行われた一般書とデジタルの合同部会

例会・忘年会 12/7

12月7日午後5時より、東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷で例会ならびに忘年会が行われました。今回は巻頭ページでもご紹介したように、新しく顧問弁護士に就任した桑野雄一郎弁護士の紹介を兼ねた講演会を実施。桑野弁護士には会員社からの相談も顧問料の範囲で対応してもらえるようになっており、本人も「契約などに関してお困りの際は、いつでも気軽にご相談ください」と話しています。なお顧問弁護士への相談方法・相談範囲などは追ってご連絡します。



例会に引き続いて開催された忘年会には桑野弁護士も加わり、38名が参加。1年間の活動を慰労し合い、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

2005年版の編集手帳発行

日本編集制作会社協会が毎年発行している編集者のための手帳「EDITOR'S DIARY 2005年版」(定価1,300円/税込)が、このほど発行されました。今年から改正下請法に関する留意点を掲載するなど、さらにデータページの充実を図っています。購入を希望される方は事務局までご連絡ください。



海外研修のお知らせ

新型肺炎SARSの発生などでしばらく取りやめていました海外研修旅行を、下記の要領で実施する予定です。詳しいご案内ならびに申込書などは近々送付いたします。(組織委員会)

■内容 中国出版事情視察旅行

■訪問地 中国・北京

■日程 2005年5月18日(水)
～5月22日(日)

5/18 (水)	10:30 東京・成田発 13:35 中国・北京着 北京故宮見学(食事:夕)
5/19 (木)	北京外国語教学出版社視察 北京大学出版社視察 自由行動(食事:朝/昼)
5/20 (金)	華僑印刷物有限公司視察 大型ブックストアー視察 自由行動(食事:朝/昼)
5/21 (土)	万里の長城と明の十三陵観光 (食事:朝/昼/夕)
5/22 (日)	14:50 中国・北京発 19:00 東京・成田着

■宿泊 すべて北京飯店

(貴賓楼故宮向き部屋指定)

■航空機 全日空(エコノミークラス)

■費用 168,000円/名

*料金に含まれるもの:東京・北京の往復航空運賃、宿泊費(2名1部屋利用)、日程表明記の食事代(朝4回、昼3回、夕2回)、観光費用、視察費用、案内人費用、交通費など

*一人部屋を希望する場合の追加料金は56,000円/名(貴賓楼故宮側)

■催行最低人員 10名

ご意見・ご要望をお聞かせください

日本編集制作会社協会では皆様のご意見を反映し、会報「ニュースレター AJEC」をさらに充実させていきたいと考えております。本誌に関するご意見・ご要望がございましたら、何なりとご連絡ください。

(広報委員長/高雄宏政)

TEL: 03-3496-0121 FAX: 03-3464-6944
E-mail: office@ajec.com

事務局だより

新年の御祝詞を申し上げます。皆様には佳き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年も皆様のお役に立つように務めて参る所存です。さて、右は今年1月～5月までに予定されている主な行事です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

<1月～5月の主な行事予定>

- 1月14日(金) 企業出版部会(18時半～、神保町・つねか)
- 1月20日(木) 賛助会員懇親会(18時半～、水道橋・量平)
- 1月21日(金) 教材部会(18時半～、渋谷・はなさかじいさん)
- 2月18日(金) 編集セミナー(16時～18時、出版クラブ会館)
- 2月18日(金) 一般書部会 *講師:鷲尾賢也氏(講談社顧問)
- 4月(日程未定) 春期ゴルフコンペ
- 5月(日程未定) 通常総会
- 5月18日～22日(予定) 中国研修旅行